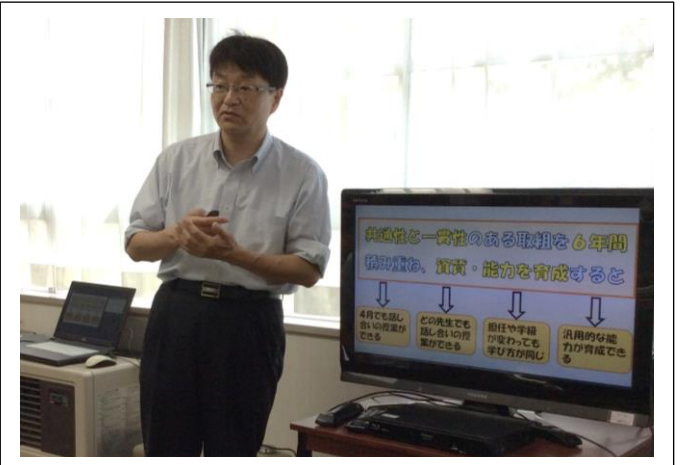


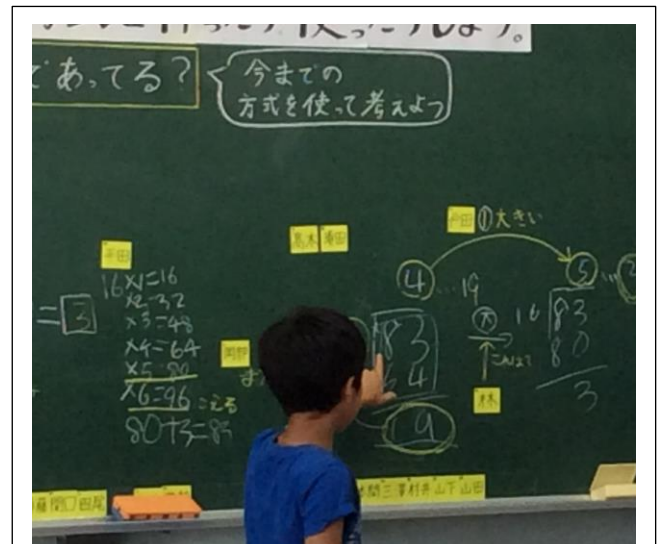
◎在職 8 年目の吉新校長先生： 話し合いのできる学級集団、授業づくりに
ついて熱く語られる。（理論家であり実践家）



◎みんなが主体的に授業に参加するための手立て→「全員挙手」



◎子どもたちで課題解決していく話し合い（相互指名・黒板で説明）



◎ 共に学び合う姿が随所に見られる（教室の空気が柔らかい）



◎ 隣同士の男女の情報交換も自然体、素直な生徒達、欠席者・不登校が少ない



◎ 体育科の板書が分かりやすい

6/29(金) 8/8H 器械運動 (鉄棒平均台)

ねらい2 条件を変え、技、発展技を組み合わせ、演技しよう!

課題 ④ いくつかの技を組み合わせ、演技しよう!
 (例) ① 鉄棒の揺り・フリスの動き
 ② 姿勢・リズム・方向変換を組み合わせた演技 (発表会・学習の目的)

今日の流れ

1. 器械器具の設置
2. 挨拶、学習内容の確認
3. 準備、補強運動
4. 種目①、② 課題練習
5. 発表会 (自己ペア評価活動) → 平均台 → 鉄棒
6. 学習のまとめ

評価観点

① 演技の台	① 演技の台
② 落下 視線	② 演技の完成度
③ 意図動作(準備)	③ 意図動作(演技)

◎ 川崎中の先生方と

小中連携の可能性を語り合う



今回の研修の参加者全員、二つの学校を参観し、多くのことを学ぶことができました。また、21名の先生方の積極的に質問し、自ら学ぼうとする姿勢に、素晴らしい研修の機会であったと感じることができました。

今回の研修は、若い先生方や女性の先生方の参加が多く、少しずつ同じ学校の職員同士のように親しくなり、実践を語り、思いを語り合う姿に、上伊那の先生方が「つながり合う」という意味で貴重な研修の機会であることを実感することができました。

こうしたつながりがこれからの上伊那の教育を支えていくための力となっていくように感じられました。



参加した先生方（川崎中学校入口で）

なお、「県外教育関係機関研修 in 川崎」については10月29日に予定している報告座談会で詳しく報告する予定です。多くの会員の皆さんにご参加いただき、いっしょに学び合いたいと思っています。

また、研修報告は、雑誌「上伊那教育」137号に、座談会の様子については、138号に掲載予定です。

乞う ご期待。